



水・緑・空 笑顔かがやく ふれあいのまち

YOSANO

広報よさの

No.71



●主な記事

- 02 特集 新春町長インタビュー
- 06 特集 シリーズ農業5 明日の農業を考える
- 24 よさの人

●今月の表紙

岩滝保育所の子どもたち（12月26日撮影）

2012

1

今年のまちづくりを町長に聞く

◎巻頭特集 新春町長インタビュー



与謝野町長
太田 貴美

——明けましておめでとうございます。昨年は、与謝野町にとって誕生5周年、町長にとっては2期目の2年目にある年でしたが、どのような一年でしたでしょうか？

明けましておめでとうございます。昨年を振り返ってまち思い出されるのは、3月1日東日本大震災です。この過去に例を見ない未曾有の大災害では大変多くの方が被災されました。お亡くなりになられた方にご冥福を申し上げるとともに1日も早い復興を願っております。この災害には復興に向けて因縁す

る被災地の皆さんや支援者の姿に日本人の絆の強さを再認識しました。また夏から秋にかけては相次いで台風が日本列島を襲い、豪雨による水害が各地に大きな被害をもたらしました。

昨年、全国に6人しかいない女性町長の一人として参加した「全国女性町長サミット」においても大震災と防災について討

——イベントをじわじわして感じた「まちの一体感」

論し、防災・減災への対応さらには復興対策の必要性を再確認しました。

また震災は日本経済にも大きな影響を与え、震災後から急速に進んだ円高もありまつて日本経済は冷え込み、中小企業を中心とした地域経済への風当たりは一層厳しくなっています。

そのような中でも、与謝野町では大きなイベントを開催するなど、明るい話題が多くの皆さんに参加いただき、守山祭や「守山大名行列」が開催され、町内外から非常に多くの方につれて改めて考えさせられる年となりました。

加えて、与謝野町の夏の風物詩となつた「ひまわり15万本イベント」や「よさの大江山登山マラソン」など恒例の行事にまちが「一体となって取り組んだことで目標としてきた「まちの一

体感の醸成」について一定の成果を感じることができました。

町政懇談会の提案と町政懇談会での住民の声

——昨年の町政懇談会は「役場町会の統合」というひとつのテーマを中心に住民から意見を聞くという例年と異なる形式で開催となりました。どのようなことを感じられました。

6回目となる町政懇談会では、住民説明会で皆さんに提案案した守山の統合について、町内全24地区を回り、説明させていただきました。例年以上に多くの皆さんに参加いただき、守山の統合を中心に、まちづくりのあり方や行政の効率化、住民参加型のまちづくりについてのさまざまな議論がなされ、今後も守山の統合に向けた意見を聞くことができる、非常に有意義なもの



まちがー体となり、10年ぶりの開催となった「与謝野町岩籠大名行列」

のとなりました。また、既に実施する意見も多く聞かれ、昨年の大震災を機に皆さんの防災への関心が今まで以上に高まっているということを感じました。

——そのような住民の声を聞くなかで、昨年のまちづくりをどのように展開されたのでしょうか？

昨年の大きなイベントなどにまち全体を取り組んだことで「まちの一体感」を感じることができました。また、地域においても自治区の活動や公民館活動などをとおして、まち全体でスポーツや文化、環境など各分野にわたって自ら的な活動を展開していただきました。そのなかで、2期目の目標として掲げる「持続可能なまちづくり」を実現するため、行政の効率化を図る取り組みとして守山の統合を提案させていただき、議論を重ねてきました。

また、持続可能なまちづくりという目標に向けて、「与謝野町総合計画」の中で掲げてきた「自助」「共助」「商助」「公助」を互いに実践し、協働のまちづくりを進め、「与謝野町流のまちづくり」をさらに進めることが

のできた一年でした。

——「与謝野町流のまちづくり」の具体的な施策はどういうものがあるのでしょうか？

これまでの取り組みが実現した具体的なものとして「リフレかやの里」のリニューアルオーブンが挙げられます。社会福祉法人が指揮監理者となって管理運営することで、障害のある人や職員がともに働き、地域資源を活用しながら使ったメニューを提供するなど、地域経済活性化や農業振興、地域コミュニティの拠点として再生することができました。

まだ福祉分野においては「安心DOKODENOアラン」に

基づいて与謝野町独自の地域密着型の福祉施設の整備を進めてきました。昨年新たに2つの小規模多機能型福祉施設が完成し、これまでに整備したものと合わせ、高齢者や障害のある人がそれまでの生活を維持しつつ、地域で福祉サービスを受けることができます。「商助」は与謝野町独自のまちづくりの形で、具体的な施策としては、住宅新築改修助成制度が大きな成果を挙げています。これまでに町内の持家件数の2割以上の方から申し込みがあり、7割以上の町内業者に参加していました。およそ2億円の補助金交付額に対して補助対象工事費は32億円以上と15倍を超える経済効果を得られ、町内にこれだけのお金が循環したことは、総合計画に掲げる「地域内循環経済の構築支援」においても、実績として認められました。

「商助」の力で 地域内循環経済へ

取り入れた防災・減災・復興対策のさらなる実施と環境に配慮したエネルギー政策の推進についての提言を内閣府に提出し、今回のサミットでまとめたことを国に強く要望しました。

——福祉分野でのまちづくりの形を紹介していただきました

が、その中では町や住民だけでなく事業者も協働してまちづくりに参加しています。ほかの分野ではいかがでしょうか。

事業者もまちづくりに参加する「商助」は、与謝野町独自のまちづくりの形で、具体的な施策としては、住宅新築改修助成制度が大きな成果を挙げています。

これまでに町内の持家件数の2割以上の方から申し込みがあり、7割以上の町内業者に参加していました。

およそ2億円の補助金交付額に対して補助対象工事費は32億円以上と15倍を

超える経済効果を得られ、町内にこれだけのお

金が循環したことは、総合計画に掲げる「地域内循環経済の構築支援」においても、実績として認められました。

——形で具現化されています。昨年の1月に設立した産業振興会議では「中小企業振興基本条例」の制定を最重要課題に、産業振興の熱心な議論が続けられており、昨年には「中小企業振興基本条例プロジェクトチーム」も発足し、「産業振興ビジョン」に掲げられた行動アグリゲーションの具現化に向けて、議論は大詰めに近づいてきました。

また、「ちりめん街道活性化調査・研究委員会」では商工会をを中心に地元住民や関係団体などから、ちりめん街道の活性化のため議論を重ねて、「ちりめん街道活性化行動プログラム」としてまとめられ、昨年8月に提言していただきました。

今後は、これらのビジョンや提言を具体的な取り組みとして、でできるところから進め、織物業をはじめとした各種産業や観光業の振興へつなげていきたいと考えています。

——農業分野においても、環境にやさしい自然循環農業の取り組みが広がり、その代表的作物である「京の豆っこ米」を生産拡大してきました。

おからなどを主な原料とする「豆の豆っこ」肥料を使って作物を生産する「自然循環農業」



は、「持続可能なまちづくり」の農業分野でのひとつの形と言えます。京の豆っこ米の作付け面積は年々増加しており、その生産を推進してきた「京の豆っこ米生産部会」の部会員全員がエコファーマーの認定を取得するなど、与謝野町の環境にやさしい農業への取り組みが評価されています。

また、1月には「明日の農業を語る会」が初めて開催され、今後の与謝野町の農業について熱く語っていたたく有意義な機会となりました。

より重要な工エネルギー・環境対策

——農業分野では環境に配慮した取り組みが評価を受けましたが、昨年はエネルギー問題が最も増して環境問題への取り組みが重要なことになりました。



●第2回全国女性町長サミット㏌かんだ!

11月18日、19日に福岡県苅田町で開催された「第2回全国女性町長サミット㏌かんだ」に参加しました。全国の女性町長6名全員が一堂に会し、女性町長ともう1名に会議し、「男女共同参画の視点から防災を！」「男女共同参画の視点から防災を！」と題して、前回開催した「協働のまちづくり」、「地域の活性化」「地域の地域力の向上」という5つのテーマについて熱心に議論し、その中に、女性町長が主導権を持った地域づくりに取り組んでいます。最後は次回の開催を与謝野町とすることを確認し、多くの成果を得て閉幕となりました。

「商助」の力で 地域内循環経済へ

取り入れた防災・減災・復興対策のさらなる実施と環境に配慮したエネルギー政策の推進についての提言を内閣府に提出し、今回のサミットでまとめたことを国に強く要望しました。



高生による清掃ボランティアの活動をとおして、K Y T の番組でこのボイドでございます。今年は「今後との対話授業」での私たちの提案を実現してくれたもので、若い人たちが環境問題やまちづくりにより関心を寄せるきっかけとしております。

住んで良かったまち、合併して良かったまちづくりを

新年明けましておめでとうございます。与謝野町議会を代表し、新春のごあいさつを申し上げます。町民の皆様にはお健やかに、平成24年の新春をお迎えになられましたこと、心よりお慶び申上げます。また皆様には、日頃より町議会に対するご理解ご協力をいたさず厚くお礼を申し上げますとともに、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年は、3月11日に東北地方で発生しました震災と津波により、多くの方がお亡くなりになられ、今もなお多くの行方が不明の方があり捜索が続いている。また、放射能汚染によ

どもうに取り組まれたでしょうか。

昨年4月には「よきの百年の暮らし委員会」を立ち上げ、100年後の与謝野町の暮らしを見据えて、今私たちが何をすべきかという視点で与謝野町の環境問題をよく検証していただいています。その中で今後環境問題を主要課題のひとつとして町全体を取り組んでいかれるよう推進していかたいと考えています。

また、加悦谷高校生が清掃ボランティアの活動をとおして、K Y T の番組でこのボイドでございます。今年は「今後との対話授業」での私たちの提案を実現してくれたもので、若い人たちが環境問題やまちづくりにより関心を寄せるきっかけとしております。

して期待しており大変うれしく思っています。

山積する重要な課題へ方向付ける年に

これまで昨年のまちづくりを振り返っていただきました。

今年は町長にとっては任期の折り返しなり、与謝野町にどちらもまちづくりの節目となる「与謝野町総合計画 前期基本計画」の最終年となります。どの

もう年になるでしょうか。

今年は「今後との対話授業」での私たちの提案を実現してくれたもので、若い人たちが環境問題やまちづくりにより関心を寄せるきっかけとしております。

宇治市議会の統合に関する議論をかけて検討していただきます。ま

た、議会でも宇治市議会特別委員会が設置され、議論が重なられ

ており、これらの進展の中で皆

さんがに情報をお聞い請願をしながら、最終案をとりまとめていきたいと考えています。

この点は地域処理については

今月に事務局が設けられ、1市2町での新たなごみ処分場の建設へ動き出しています。これまでも検討してきた保育所・幼稚園・小学校の適正規模・適正配置についても、より明確な方向性を皆さんにお示しすべ

き時期に近づいていると思いま

す。そして、昨年最も皆さんが関心を持たれたことのひとつであ

る「防災」についても、防災計

画の見直しを中心に取り組んで

いきたいと思います。また、小中学校の適正規模・適正配置

そして防災計画の見直しなど

残る課題は一筋縄ではいかない

ものです。しかし、「お金がないからできない」ではなく、「お金がない中でどうやって実現していくか」限られた予算をどう将来に向けて使っていくか」という視点を持ち、まち全体で知恵を出し合ひ、皆さんとも協働して取り組んでいかなければなりません。

まちのかい取り役として私か

ら多くの提案をさせていただき

ますが、まちづくりの主役

今年も一人ひとりのキヤチボールを大切に

今年まちづくりの新たな

段階へと進みます。

与謝野町最後に

じ取り役

ある町長から住民

の皆さんへ

メッセージを

お願いします。

庁舎の統合そして

それに伴う役場組織の見直し

ごみの廃棄処理、保育所・幼稚

園・小学校の適正規模・適正配

置そして防災計画の見直しなど

残る課題は一筋縄ではいかない

ものです。

住民の皆さん一

人ひとりです。今まで

にも多くの皆さんの努力や協力

を得て、さまざまな施策を進め

てきました。今年も皆さんの

努力がますます

あります。

キヤチボールを大切にしなが

ら町政を進めてまいります。

与謝野町が誕生して5年が経

ち、「自分たちでやつてみよう」

という「自助」「共助」「商助」

の精神が皆さんにしつかりと根

付いてきました。行政はそんな

皆さんの夢や目標への挑戦を応

援し、一人ひとりがより輝ける

よう支えていきます。今年は天

高く昇る年です。住民と行政

そしてまち全体が一体となって

なる高みへと飛躍する年にしま

しょう。



は住民

の皆さん一

人ひとりです。今まで

にも多くの皆さんの努力や協力

を得て、さまざまな施策を進め

てきました。今年も皆さんの

努力がますます

あります。

キヤチボールを大切にしなが

ら町政を進めてまいります。

与謝野町が誕生して5年が経

ち、「自分たちでやつてみよう」

という「自助」「共助」「商助」

の精神が皆さんにしつかりと根

付いてきました。行政はそんな

皆さんの夢や目標への挑戦を応

援し、一人ひとりがより輝ける

よう支えていきます。今年は天

高く昇る年です。住民と行政

そしてまち全体が一体となって

なる高みへと飛躍する年にしま

しょう。

総合計画の前期の検討と後期計画策定との実現、また、行財政改革の更なる推進であります。

昨年は、有線テレビで防災行政無線の全町地域への整備完了と、懸案のリフレッシュや里の里のオーフン、地盤共生型福祉施設の建設、加悦中学校の改築など、大きな事業が前に進みつつあります。

今後、庁舎の統合問題や保育所・幼稚園・小学校の適正規模・適正配置のあり方は、合併特例債の有効活用も踏まえ、避けて通れない道だと思っていました。

また、昨年5月には、町行政による庁舎統合に係る説明会が開催され、町政懇談会において住民の方々から庁舎統合に係る意見収集が行われましたが、行政の提案方法と内容に対して、大変厳しい意見が多く出されました。議会としても、この庁舎問題について調査・検討するため、6月に庁舎問題特別委員会を立ち上げ、庁舎のあり方に

ついての調査・研究を行つとともに、議会に提出された2つの請願についても審査を行つています。今後は、新たに設置される庁舎統合検討委員会の中で、再度論議されることになりますが、住民に対する懇切丁寧な説明と十分な理解を得ることが求められます。

さらに、私たちに与えられた大きな課題があります。それは、一緒に飛躍の年にしたいものであります。結びに、町民の皆様にとりまして、今年一年が健勝で災害のない穏やかな年になりますよう心より祈念申し上げ、新春のごあいさついたします。



与謝野町議会議長
井義田

住んで良かったまち、合併して良かったまちづくりを

新年以来ましておめでとうございます。与謝野町議会を代表し、新春のごあいさつを申し上げます。町民の皆様にはお健やかに、平成24年の新春をお迎えになられましたこと、心よりお慶び申上げます。また皆様には、日頃より町議会に対するご理解ご協力をいたさず厚くお礼を申し上げますとともに、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年は、3月11日に東北地方で発生しました震災と津波により、多くの方がお亡くなりになられ、今もなお多くの行方が不明の方が多いと捜索が続いている。また、放射能汚染によ

り、住居や仕事、食や環境面など多くの影響が続いている。

さらに、その大震災から半年後には、台風1号や15号による記録的な豪雨により、戦後では例を見ない水害が発生し、私たち

も心を痛めるばかりであります。

被災された方々の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

また、昨年は異常に高温が定

第26回国民文化祭が京都市で開催され、与謝野町は「与謝蕪村

顕彰俳句大会」を組む全国

から俳句愛好家や住民の方々など多くの参加と投票をいただき、俳句文化の振興発展と交流の場が広がり、成功裏に終了したと

思っております。

また、岩瀬時代から継承されてきた「与謝野町岩瀬大臣行

列」が10年ぶりに実施され、豪華爛漫な時代絵巻を2万人もの多くの方々に堪能していただきました。

また、昨年は異常に高温が定

着し企業の空洞化が進む状況

に追いつき打ちをかけるように

タクシードドリビングの水害ヨリ

ロソバの金融不安等もありま

た、「廻り転じて福と成す」日本

の英知に大いに期待をしてい

ます。さて、新町になって6年、今まで実施されてきた多くの事業やイベントに加え、昨年10月には、

第26回国民文化祭が京都市で開催され、与謝野町は「与謝蕪村

顕彰俳句大会」を組む全国

から俳句愛好家や住民の方々など多くの参加と投票をいただき、

俳句文化の振興発展と交流の場

が広がり、成功裏に終了したと

思っております。

また、岩瀬時代から継承されてきた「与謝野町岩瀬大臣行

列」が10年ぶりに実施され、豪華爛漫な時代絵巻を2万人もの多くの方々に堪能していただきました。

また、昨年は異常に高温が定

着し企業の空洞化が進む状況

に追いつき打ちをかけるように

タクシードドリビングの水害ヨリ

ロソバの金融不安等もありま

た、「廻り転じて福と成す」日本

の英知に大いに期待をしてい

ます。

いすゞ車の運転手

その結果も踏まえて、これまで先進地への模擬研修や、23回の内部の検討会議を重ね、さまざまな課題について協議してきましたが、よいよまとめての段階に入りました。開かれた議会で皆様方の多様な意見を町政に反映する議会など、今までの議会から脱皮し、我々議員自身が変わらなければならない時代に入ってきたと思ひます。

また、岩瀬時代から継承されてきた「与謝野町岩瀬大臣行

列」が10年ぶりに実施され、豪華爛漫な時代絵巻を2万人もの多くの方々に堪能していただきました。

また議会としても、この庁舎

問題について調査・検討するた

めに、6月に庁舎問題特別委員会を立ち上げ、庁舎のあり方に

ついての調査・研究を行つと

もに、議会に提出された2つの請願についても審査を行つてい

ます。今後は、新たに設置され

る庁舎統合検討委員会の中で、

再度論議されることになりますが、住民に対する懇切丁寧な説明と十分な理解を得ること

が求められます。

さらに、私たちに与えられた大きな課題があります。それは、

一緒に飛躍の年にしたいもので

あります。

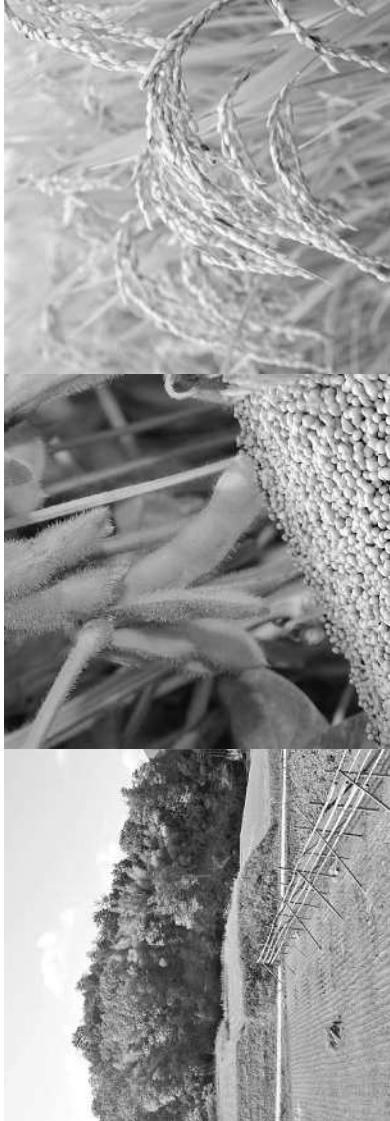
結びに、町民の皆様にとりま

して、今年一年が健勝で災害

のない穏やかな年になりますよ

うからご祈念申し上げ、新春の

ごあいさついたします。



農業を考える明日

4回にわたり特集してきた与謝野町の農業シリーズもついに今月で最終回。これまで環境にやさしい農業とそれを取り組むさまざまな人たちを紹介してきました。その中心である自然循環農業も「京の豆っこ米」の栽培など一定の成果を残してきました。
しかし、TPPや震災による農作物への課心の高まりなど、日本の農業は大きな岐路にあります。その中で今後の与謝野町の農業の方向性を認めるべく「明日の農業を語る会」を開催しました。



コーディネーターの桂教授と7名のパネラーを中心とした講演会が行われました。

与謝野町で取り組んできた自然循環農業 生産者や消費者それぞれの現場の声から 明日の農業について語り合う

「明日の農業を語る会」

1月11日、元氣館を会場に「明日の農業を語る会」を開催し、メインとなるたばネルティスカソシヨンではコトデイネオタトに京都府立大学の桂准教授を迎へ、与謝野町内の生産者、流通業者、消費者など各分野からバネラードを招き、その各自の視点から与謝野町の農業の現状や課題などについての生の声や熱い思いを語り合い、約50名のギャラリーとともに、与謝野町の農業の今後について議論しました。今回は、その様子を紹介します。

●パネルディスカッション

杉原 新規農業アドバイザーで、与謝野町に来ました。私が感じたのは、農業を望む人は年々増えているのに、一方で農業の担い手が不足しているというミスマッチがあることです。就農希望者と地域をつなぎ、受け入れ態勢を整え、それが解消できないかと思います。

しいお米が食べたらどう思ひから生産を始めましたが、今ちまちも良い評価をいただけており、やつてよかつたと思ひます。

伊達 立つり肥料を使い始めた当初は、効き目がすぐには現れないので使いにくく肥料だらう思ひましたが、技術でカバーできれば、かなりいい品質の米ができるということがわかりました。有機肥料での無農薬栽培に取り組んで13年になりますが、立つり肥料は品質面において絶対にマイナスにはならないと思います。

手間とコストをかけて
生産した安心・安全な食材
その付加価値とは?

桂 今までの話からは、豆っこ肥料といふのはその原料も地元のもので安心であり、いい米が穫れる肥料ですが、少し高いという評価でした。その分付加価値がつけば問題はないと思いますが、その点について、井上さんの話では安心・安全の野菜を作つてもそれに見合つたものが返つてこないという切実な現状があるらしい。

井上 施設園芸農業は農地を変えずに連作となるので、連作障害を避けるためににはどんどの方が有機肥料を使っていますが、その取り組みが単価に繋がりつかず経済的なリターンとして返ってこないのが現状です。

桂 野菜にはそういう状況があるよ

「これまでの取り組みを
どう一步前へ進めるか」

● 京都府立大学生物環境学部

A black and white portrait of Katsuhiko Kondo, a man with glasses and a suit, looking slightly to the right.



「生産者も豆つこ米の
ブランド化に努力を!」

● ト A 京都
京の豆っこ米生産部会

●京の豆っこ米の生産者（認定農業者）であり、平成21年度には丹後米改良協会の主催する丹後良食味米共創会で最優秀賞を受賞。



井上 施設園芸を中心とした野菜栽培をしており、労力軽減のために始めた黄色蛍光灯で虫除けを行ったり、納豆菌で病気を防いだりといった取り組みが環境にやさしい農業を目指す今世代にマッチしたと思います。しかし野菜についてはブランド化ができておらず、そうして安心・安全なものを作つても同じ単価で売られてしまうことがあります。

香山 自然循環農業もある程度定着しこれからどうするかという時期に入ってきたと思います。私からは、も流通業者の視点からブランド化や消費者の評価などについてお話ししたいと思います。

伊達 自然循環農業はこれから時代に合っているし、いろいろのたどり思い5年前に野田川地域ではさきがけて豆つこ米の生産を開始しました。しかし、豆つこ肥料が高いことを指摘します。資材が高くなるなか、米の値段は下落傾向にあるので苦しい経営になってしまいます。また、自然循環農業の取り組みの方法として豆つこ肥料を使うのはベストだと思いますが、せつかくいい肥料を使つておいしいお米を作つているその生産過程で、除草剤を使つて本当に迷惑を感じています。

小畠 農業に関しては素ですが、消費者あるいは家庭の食卓をする主婦の立場からお詫びしたいと思います。最近は「安心してそれを食すことができるか」ということが、食品を選ぶとき

最も重視するのがアントなどといいます。そのため、地元で農薬をあまり使わず自然循環農業で立つこ米や野菜が生産されていることは素晴らしいと思います。しかし、立つこ米は地元の商店ではあまり見かけませんし、家庭菜園で立つこ肥料を使いたいと思うても手に入らないので、その他の主要産物や肥料を「誰でもいつでもどこでも」購入できるようにならなければいけない。

畠田 丹後らりめんもブランド化を目指しているが、なかなか実現できていません。豆っこ米の取り組みから学ぶことが多いように感じました。遭った世界を見ることでモノとなることが多いので、そういう機会を提供したいです。豆っこ米のブランド化については、「与謝野町の農業」、「与謝野町の水稲」、「豆っこ」など社会としてのブランドと豆っこ米自身のブランド化を分けて考える必要があると思います。

自然循環農業の取り組み 生産者からの評価は?

桂 一通り皆さんの話を聞きましたが、大きく分けて、価格などの生産面の問題と、ブランド化についての意見が出ました。これまで培ってきた自然循環農業はどう評価し、そしてどういった方向に二歩進めていくかということについて、いかがでしょうか。

「苦労して生産した豆つこ米をどう売るか。もうひと工夫が必要」

●セミナー講師　伊達良一



だりよういち
●水耕を中心とした農業経営を
展開。ビッグファーマー野田川の会員として野田
川地域ではさきがけて豆つこ米の生産を開始。ま
た、無農薬米の栽培にも取り組んでいる。

「安心・安全の野菜の良さをどう消費者に伝えるか」

●与野野町担当手取農業者会
副会長



いのうえあきら
●ハイハウスを中心とした農
業経営を行、農業や化学肥料の使用を抑えた安
心・安全な野菜作りに力を注ぐ。

「就農希望者と地域をつなぐ体制作りを」

●新規就農者



すぎはらりょう
●平成22年から(有)あつぶ
るふあーとで研修中。今年4月から独立し、ハイ
ハウスでの農業経営を予定。

「さまざまな要素がからみ合い、地域が一体となつたブランド化を」

●京都府農業
代表取締役



かやましのり
●平成20年に設立した京都府
農業は農業経営と農産物の流通販売を展開。
スマートカードによる販売など、その販
路拡大実績中。

うですが、一方、豆つこ米はある程度の付加価値のついた価格で販売で売れてるのです。どうやうか。

宮本 ほかの野菜生産者さんと比較して、化粧野菜を使つた場合と比べて生産量が少ないため、かけたコストが嵩つてしまつて、これは一層ひどと言えがちや。

桂 著労して生産した豆つこ米をもつと高く売れたもの取扱いをしていく必要があるのかどうか。消費者にもつこ豆つこ米を認めて、それが高くなるならば、高く購入してもらいたいのですがどうやうか。

伊達 豆つこ米のアピールポイントを自然循環農業だけにするのは少し弱いと思います。たとえば農園ではコウノトリ、佐賀ではキイリ生れ物などってPPLしてます。そのようにとにかく消費者に説き聞かせることが必要ではないでしょうか。

地域一体でのアラバド化 ちりめんと農業をつなぐ「水」

香山 設営の中央と最も高い豆つこ米の販売価格は500円。高く売るためには重量なのではなく、「こりにこり、誰に食べてもらおうか」ということになります。アラバド形成には「商品自体のPR」「私たちの入会ホールとなる場所」「地域の伝統農業」くらい3つの要素があり、これを与野野町に沿ってつながれば

「京の豆つこ米」「ちりめんと梅酒」「織物業」「ちりめんとひな祭り」など、「自然循環農業の京の豆つこ米」だからながら、織物が一本ひないた日本におけるアラバド化がひそむとも思えます。アラバド化してそれを競争するよりも大変ですが、それができる面でもあります。それだけにお米の競争地帯にも思えます。

桂 じぶんの地域で、ひらくつなげて生産された米などのちりめん農業を始めた物語を語れば、そこには防水力が強くなるところにあります。1枚まったく別ものである豆つこ米が、ちりめん農業を競ひつけめりいりで、地域の姿が目に浮かぶやうなアラバド形成もあると見えられますが、ちりめん農業に携わる安田さんはどう思ひますか。

安田 私が注目したのは「水」です。丹後ちりめんは、それには水が非常に多いといふ後の農業をちりめんと合つてじるにこなすうだつてねだ農業です。直営店はなかなかなくして、食べ物がおこつこりからいは水の良さをもく乗りますので、少なくとも接客があると嬉しいです。

桂 ちりめん水がけの植物の農業や米を栽培するからうつりでつた。そ

うしたロゴの世界で、消費者が暫時に持つて

いるにこなすうだつてねだ農業です。直営店はなかなかなくして、食べ物がおこつこりからいは水の良さをもく乗りますので、少なくとも接客があると嬉しいです。

をめりアラバド化をめらうかな
ひじめうか。しかししながら、地元の消費者は豆つこ米など地元の農産物を豆つこ米で販売をおも手に入らなくなりうつりましたか?

小西 地元で繁盛らしく農業をしてい
るのにもかかわらず、それがどうで
走つてくるのか一般の消費者はあまり
知らないとも思いますが、

地産地消のキツヒツの画面 とその必要性

桂 地産地消は地域内で経済を循環させて農業を支えるひとつの方策ですが、そのわりにひとつの画面に、地元の消費者から口々に「その群衆が太っていい」ということがあらわれます。ロジスティクスやトローク等連携した現在では、口々に「おいての大企業を持つてこまます。そうしたリソースからも、地元の農産物を出す地元の人たちが消費できるような仕組みを作るのに必要なではないでしょうか。外の世界も見ていろいろこれから農業に取り組むが専らそんな風に農業を持たれましたか。

杉原 土後の米が特徴だとおこつこ。
ほのかの香りで口に食べると「ああ?」
と思ひません。豆つこ米もそうです
が、生産者や消費者もおこつこ画面を
持つて「おこつこがおこつこだぞ」と認識してもらいたい思い。

会場から野菜を高く売れないといふ
話が出てこましたが、少し高くて安全

ではなうじめやが。ロジスティクス
だけでなく、与野野町の取扱いである豆つこ米のアラバド化をめざす農業や米の販売にも生き残るために思ひます。今後はうつた努力をしていかなければならぬなんのうじめやが。

香山 販売店舗も豆つこ農業しなけれ
ばなりません。いよいよしかも知らない
のがいづらハイヤーと店舗をたくさん
いるので、販賣者がこりから食べてい
くいじめやが流通業者の役目だと思つて
います。やはり多くの方に与野野町の取り
組みを知つてもらつうじめやが第一歩だと思ひます。

会場からほかの豆つこ米も少しあく
豆つこ米を販売していますが、香山を
ぐから豆つこ500円で販売していづら
りしました。与野野町として販売価格
の基準が必要な気がしますが、いかが
でしようか。

香山 500円500円で本物といづく
部の店舗の時、しかし、現に言えは
それだけの値段をつけても売れる店
があらうといづらります。豆つこ米に
はそれだけの価値があると感想します
が、やはり1粒500円から3000円から
3300円で豆つこ米を販売できる価
格と言えます。豆つこ米の価値とし
ては3000円でも安くはないですが、
3300円でも高く売つてこらる米た
め感らが。

安田 ブランディングを実現するには、守
らなければならぬいじめやがんやんあ

るので、植れ込み一撃になつてある程
度のルール化も書けると簡単ねるんで
はなうじめやが。それがまだ価格の
競争出ましたが、消費者にこじてせん
こで買つてお回り豆つこ米なので、あ
まりじめやが通じこなれば、アラ
バドを譲りしきもう可能性があります。
難しくやめしかねやが、価格のル
ール化につけておきててしかだらればな
らうじめやが。

伊達 小分けして売れるいづらのやか
つのアイデアだと思ひます。私も東
京や京阪神に直販しているが、ほん
どが5kgが10kg袋。そしてあるとき
には豆つこ米を農業にかける感じを
記したのや、日々の収穫などを発付
するやがてこづこがます。味を食ても
うれがなほりますが、生産者の姿
は日々りいじめやがれてしかありません。
そういういづらのやか人や農業の方に紹
介しておこつこしきつ販売者が広がつ
てらが。

桂 おなかを詰めらへんやめらりや
ありやがが、そろそろ農業をやめてお
こりました。バネコスメの店やんには
最後に一言すつお腰らしきや。

宮本 今日は貴重な体験、こり難農に
なりました。生産者、ブランディングに
むかう取り組んでこりかねればなら
ないから思ひを出されて願ひました。

伊達 農業として20数年になりますが、
かがんの内海の川河川には1袋
(30kg)1万円の価格が必要だと思つ

健やか広場 ▶ 知っていますか？食物繊維の健康効果

がんばってます！消防団

編集・消防団本部



◎新年ごあいさつ

あけましておめでとうございます。新年をご家族お揃いで健やかにお迎えになられましたこと心からお喜び申し上げます。

町民の皆様には、日頃より消防団活動に対しまして格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

与謝野町誕生以来、「火災ゼロ」の町・与謝野町を目指して消防団活動を実施してまいりましたが、昨年は、「昨年より3件減少したもの」の10件もの火災が発生しました。火災の原因は複雑多様化しておりますが、一人ひとりが注意して火を取り扱うことで出火を防ぐことができたものがそのほ

**火災ゼロの町を目指し、
本年も取り組んでまいります**

与謝野町消防団長
と
澤田 尚登
さわ だい なお と しのぶ

今一層の火災予防活動に努めてまいる所存でございます。

さて、昨年は3月に発生した東日本大震災をはじめ9月の紀伊半島台風被害などにより、日本各地に未曾有の被害をもたらしましたが、災害発生直後から地域住民の避難誘導等の任務に当たり、その最中に不幸にして殉職された消防団員の方々に対し心からお悔やみを申し上げるとともに、最後まで國民の安心安全のために使命を全うされたその姿勢に深く敬意を表します。

町内においては、昨年は幸いにことに大きな被害なども無く、比較的平穏な年であります。しかしながら、自然災害はいつどこで起きてもおかしくない状況で災

どんどおりです。しかし、近年の災害発生現場において多数の消防団員が目ざましこれましても日頃から災害に対する意識と備えを十分にお願いしたいと存じます。

さて、昨年は、6月に与謝野町消防団としては2度目の「町長査閲」を実施し、当町消防団の消防力を遺憾なく發揮してくれました。そして、9月には予防消防として「消防防災フェア」を開催し、多くの皆様に防火防災意識の高揚を図るため、力を自負しております。

いずれの取り組みについても団員は毎日訓練、準備を経て当日は団員一丸となって日頃の訓練の成果を遺憾なく發揮してくれたと振り返っております。

我々消防団は、日夜消防災の要として活動していますが、社会が大きく変化していくなか、自営業の団員が減る一方で、会社勤めの団員がその大半を占め、新人団員や雇用の火災等に出動する団員の確保が難しい状況となっています。これらの状況により昨年から消防団OBの方々による消防団支援隊を新たに発足し、活動していただいておりますが、まだまだ消防団を取り巻く社会的環境は大変厳しい状況にあります。

しかし、近年の災害発生現場において多くは消防団員が目ざましい活躍を見せ、その重要性が改めて認識されているのも事実です。本年もこれら消防力の確保とともに、町民の皆様の生命と財産を守り「自分たちの町は自分たちで守る」という消防精神のもと、団員一丸となってさらなる努力と精進をしてまいります。

結びに、町民の皆様のご健勝と、本年が災害のない平穏で平和な年でありますように心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



団員一丸で火災予防に努めます！

みなさん質問です。

あなたが思う「食物繊維」のはたらきをひとつ選んでください。

- 便秘解消
- 血圧の上昇を抑える
- エネルギーになる
- 骨粗しょう症予防
- 血糖値の上昇を抑える
- 免疫力をあげる
- コレステロール値の改善
- 食べすぎを防ぎ肥満予防
- 筋肉や血液を作る

この質問は、昨年の健診会場で受診者の皆さんに参加型アンケートとして投げかけ、答えてもらつたものです。

健診時は、最も健康への意識が高い時期とも言えます。健診を健康づくりのスタートとして意識し、関心を高めてもらえるように「あなたに伝えたい健康情報」として健診や健診結果報告会などのさまざまな機会で「食物繊維」について啓発を行っています。

多くの皆さんは「食物繊維」が体に良いと聞いたことがあるでしょう。「食物繊維」は、糖質、脂質、

タンパク質、ミネラル、ビタミンからなる「5大栄養素」に次ぐ第6

の栄養素と言われるほど、その存在は重視され、脚光を浴びるようにになっていきます。

今回は皆さんにも投げかけた参考アンケートの集計結果と、体に良いことがたつぱりの「食物繊維」のさまざまな健康効果を紹介したいと思います。

参加型アンケート集計結果

約840人の受診者のみなさんが参加型アンケートの質問に回答してくれました。その集計結果は、「便秘解消」がダントツで、「コレステロール値の改善」、「肥満防止」が次いで多いというものでした。

実はアンケートの項目には引っかけもありました。「エネルギーになる」、「骨粗しょう症予防」、「筋肉や血液を作る」という効果は、直接的な効果としては低いです。

しかし、食物繊維が含まれる食品にはこれらのはたらきをするものもあるので間違いというわけではありません。

食物繊維の7つの力に注目

① 便通をよくする

腸の動きがよくなり、スムーズな排便が行われます。また、便を柔らかくするはたらきもあります。

② 食べすぎを防ぎ肥満を予防する

かむ回数が増え、胃の中で水分を吸収して大きく膨らみ満腹感を覚えるため、食べすぎて余計なエネルギーの摂取を防ぎます。

③ 血圧の上昇を抑える

糖質や脂質の吸収を緩やかにして、血糖値の上昇を抑えます。

④ コレステロール値を改善する

コレステロールが体内に取り込まれるのを抑えます。

⑤ 免疫力を向上させる

腸内細菌のバランスを整え、免疫力を向上させます。

⑥ 大腸がんを予防する

便通が良くなり腸に便が停滞する時間が短くなり、発がん物質などが腸壁を刺激することが少なくなります。

意外と知らない食物繊維

日本人の食事摂取基準（2010）

年度版では、食物繊維の目標取量は、18歳以上では1日あたり男性19グラム以上、女性17グラム以上とされていますが、食生活の欧米化や生活スタイルの変化によって食物繊維の摂取量が減り、ほぼ全ての年代で不足しています。

効果的な摂取方法

● 和食がおすすめ

切り干し大根、ひじきなどの乾物や煮物、豆、おから、きんぴら、芋の煮付けなどは食物繊維を豊富に含む食材が使われているため、自然と多く摂取できます。

● 生野菜より加熱した野菜をしっかりととりましょう

生野菜は食べられる量が限られますのが、加熱することでさが減り、たっぷりとることができます。

● 豆類、海藻類、きのこ類などを積極的にとりましょう

食物繊維が豊富に含まれる食材です。未精製の穀物には食物繊維が豊富です。米なら玄米や七分つき米、パンはライ麦パンや全粒粉パンに変わるものも良いでしょう。

食物繊維を食事にうまく取り入れることで、健康増進間違いありません。日頃から意識してコツコツとどのように心がけてみてください。

皆さん、あけましておめでとうございます！
辰年になりましたね。今年もエキサイティ！

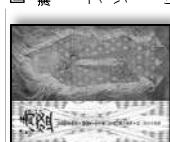
●今月のオススメの1冊
NHK 大河ドラマ 平清

1月に始まるNHK大河ドラマは毎年話題になり関連図書も人気となります。今年は平清盛が主人公。ドラマをより楽しむための本をご紹介します。



『実は平家が好き。』
『自からウロコの玉墨』、その章

『平家物語』では悪人のような描かれ方の満盛ですが、見方を変えると人情味あふれる国際人だった！後の源氏政権によつて至められた一族「平家」の真実の姿を工メードを経てつづります。



[一般書] ●『スティーブ・ジ

【第11回 滝地区公民館訪問】

地区公民館は、大江
滝山の麓に位置し、区民のふれあい、会合、研修等の活動に利用しています。

公民館活動は男性8名、女性5名の13名の運営委員を中心として、健康やふれあいの場を作ったり、子どもたちと一緒に学んだりといろいろな事業や講座に取り組んでいます。多くの方が集い、親睦を深め、身体や頭を使い、自然と親しくなることが、自分でつくり、仲間づくり、地域づくりにつながればと願っています。

●公民館活動での事業を紹介

●健康講座として9月から11月に隔週で行っているヨガ教室は毎回約20名が参加し、和気あいあいと笑いの絶えない大変好評な講座です。

●10月には「歩こう会」を行ない、子供を含む約50名の参加者が、片道約2kmの鎌倉林道を歩きました。林道の途中の砂防ダムの見学を行い、森林の役割などについて京都府の職員の方から学びました。

●区民ふれあい講座として、8月には夏祭りが盛大に行われるなど、さまざまな行事があります。

Info	図書館おはなし会
<本館>	2月4日(土)11時
<加悦・野田川>	1・2月はお休み



地区公民館活動



A black and white photograph showing a group of students in a classroom. They are all looking down at a large sheet of paper or a presentation board that is held up in front of them. The students appear to be in their late teens or early twenties, dressed in casual attire. The room has simple walls and what looks like a chalkboard or another piece of equipment in the background.

●問い合わせ先／新野町立図書館☎ 46-2451 加悦分室☎ 43-0376 野田川分室☎ 43-0087
●休館日／毎週木曜（本館・加悦分室）、毎週火曜（野田川分室）、毎月最終木曜（共通）
●開館時間／午前 10 時～午後 6 時



どでもやりきな流れに! ち過疎化、少子高齢化ですが、一人ひとりの健やかな地域活動が、次世代に継承されたりの健となること

川川分室☎43-0087
野田川分室)、毎月最終木曜(共通)



まちの話題 ワイド / 子どもたちから思い思いのメッセージ

与謝野町子ども発表会

与謝野町青少年育成会が主催する「与謝野町子ども発表会」が11月27日、生涯学習センター知遊館で開催され、町内の小中学校と加悦谷高校の13人の子どもの思いが詠じてありました。



来場者の胸を打つ、見事な発表を見せた13人。
(氏を敬称略)



表現すること
夢の実現のために今大切にしたいこと
羽賀大悟
加悦小5年
岩屋みのり
岩屋小6年



かかわりを大切に
米内 誠
三河内小6年
渡邊典子
市場小6年



音楽は怖い
山崎 康平
山田小6年
坂根 遥
横畠中3年



『ことばの』
大切さ
坂根 遥
横畠中3年
羽賀麻央里
加悦中年
倉 愛生
桑原小6年



私のクラス
全校の顔として一意識と行動を高める日々
倉 愛生
桑原小6年



●三河内幼稚園作品展 園児たちの手作りの作品がいっぱい！



毎年恒例の「三河内幼稚園作品展」が12月10日から13日まで開催され、園児たちの力作が勢ぞろいしました。三河内幼稚園では、造形活動を通して豊かな表現力を育てることを目的に作品展を毎年開催しており、保護者だけでなく地域の方にも一般公開され、今年も多くの来場者でぎわいました。「お店屋さんごっこ」をテーマに園児どもうしや、保護者、地域の方と協力して作ったお店や品物が所持しと並べられ、園児たちはベットショップやケーキ屋さん、回転寿司、魚屋さん、焼きそば屋さんなどの店員になりました。魚屋さんではグローブの解体ショーが行われたほか、サイモンさん手作りのクッキーのお店やひだまりの丘のパン屋もあり、来場者は作品展を満喫していました。

●人権問題を考えるきっかけに

12月8日、野田川わーくばるで「人権問題を考えるつどい」が開催され、約250人の来場者が計られました。講演では、教育サポーターとして若手教師の指導などに取り組む仲島正教さんが「あーよかったですあなたがいて～「優しさ」という温かい貯金～」と題し、子育てや学校教育における真の人権教育について、「差別をなくすには、小さな頃から家庭や学校で認めてもらいたい、心に優しさの貯金をすることが必要」「虐待やいじめを受けて、心に傷金をしてしまう」と、差別やいじめ、将来の虐待につながってしまう」と教師時代のエピソードを交えながら語りました。

●与謝野町敬老会

4,467人の長寿をお祝い！

「与謝野町敬老会」が、9月22日は岩瀬ふれあいセンター、23日は加悦小学校体育館で、そして9月の豪雨によって開催が延期となっていた野田川地域は12月2日に野田川わーくばるで開催され、町内在住の高齢者の健康と長寿を祝いました。今年の対象者は昨年よりも34人多い4,467人で、3会場合わせて821人の参加がありました。



式典では、町長や来賓からお祝いの言葉が述べられた後、米寿の記念品などが対象者に贈られました。その後、お祝いに駆けつけた保育所園児や小学生らのステージショーや、子どもたちによるおじいちゃん・おばあちゃんへの作文の発表が行われ、参加者はその姿に目を細めしていました。

生まれたときから人権は持ると語り、知ること」(幹)の大切さを訴えた仲島さん

所得税・町府民税の申告相談と受付は3月15日(木)まで

□ 税務署 44-3084

申告はお早めに

● 每年期限近くになる
と大変混雑しますので、
済ませてください。

● 税務課

● 宮津税務署

● 平成24年1月1日現在

在与野町に居住し

ている人は申告書を提

出してください。所得

のない人もその旨を申

告してください。

● 申告の不要な人

たし、次に該当す

る人はあらためて申告

書を提出する必要はあ

りません。

● 所得税の確定申告

を提出した人

● 給与所得だけで、勤

務先から給与支払報告

書を提出している人

● 印鑑

● 平成23年中の収入

● 公的年金等に係る
所得のみの人

● 申告が必要な人

事業をしている人

や不動産収入のある人

など、平成23年中の

所得の合計額が名義所

得控除の合計額より多

い人

給与の収入金額の

を超える人

給与を1ヵ所から

受けている人で、給与

が20万円を超える人

給与を2ヵ所以上

から受けている人で、

給与を20万円を超える人

給与を20万円を超える人

給与を20万円を超える人

給与を20万円を超える人

給与を20万円を超える人

給与を20万円を超える人

給与を20万円を超える人

● 分かる書類

● 給与所得者や年金

受給者で確定申告をする

人は、平成23年分源

票類

● 所得控除の計算に必

要な書類 払込證明書

生命保険料 地震

保険料 国民年金 地國

民健康保険料 介護保

障料 後期高齢者医療

長寿医療 保険料等

● お届けします

● 申告書が郵送され

た人は、必ず開封し、住

所記入しておいて下さい。

● 事業所得(営業、そ

や不動産所得のある人

は、収支内訳書(少な

くとも、必要経費を項

目別に年間分を計算

を記入して持参してく

ださい。

● 分離申告は専門的な

業務で申告してください。

相談先	相談会場	3月												相談時間	対象	
		16日(火)	17日(水)	18日(木)	19日(金)	20日(土)	21日(日)	22日(月)	23日(火)	24日(水)	25日(木)	26日(金)	27日(土)	28日(日)		
税務署	宮津税務署	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9:00~17:00	所得税
商工会本所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9:30~16:00	所得税 住民税
税理士 同加税理士所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9:30~17:00	所得税
同岩瀬支所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9:30~17:00	所得税
元気館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9:30~17:00	所得税
役場 知遊館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9:30~17:00	所得税
野川広舎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9:30~17:00	所得税

※税理士による無料税務相談の受付は、9:30から16:30までです。※いずれも12:00から13:00までは休憩です。

所得税法が変わりました！

● 宮津税務署からのお知らせ

● 他の税理士による
公的年金等の収入金額が400万円以下であり、かつ、
公的年金等以外の所得金額が20万円以下
の場合には、所得税の確定申告書の提出を要しない
ことになりましたので、ご注意ください。
※この場合でも、所得税の還付を受けるための申告書を
提出することができます。

● パネリスト

津止正敏さん(立命館大学教授)
土居正志さん(高齢者総合福祉施設虹ヶ丘施設長)
大田貴美(宇治野町長)

● その他

保育ルーム(6ヶ月から就学前対象、要予約)、手話通訳があります。

● 申し込み

希望される方は1月31日(火)までに電話(ファックス)、電子メールのいずれかの方でお申し込みください。

● 問い合わせ先

企画財政課(4-6-3084)
E-mail 4-6-3080
kikakualsei@town.yosano.lg.jp

宝くじを財源に地域活動を支援

企画財政課 4-6-3084

地域活動を支援

地域活動の発展を目的に、
財団法人自治総合センターの自治宝くじ助成事業は、
受託事業収入を財源とするコムニティの助成金を受け、加税

されています。

地域コミュニティの健全な発展を支援しています。

NPO法人 野田川良い町づくりの会

今月まで5回にわたりシリーズで特集してきた与謝野町の農業。その中で環境にやさしい自然循環農業の推進と、その課題や今後の可能性について紹介してきました。



前列左から下森清史さん（男山）、長壁克司さん（幾地）、野村生八さん（三河内）、後列左から安田剛正さん（三河内）、森山末信さん（石川）、茂籠進さん（下山田）、茂籠繁さん（下山田）

そこで今回、新たな農業の可能性として紹介するのは「無農薬・有機農業による完全な地域づくり」を目指し、「根圈活力農法」による米作りに挑戦しているNPO法人「野田川良い町づくりの会」の皆さんです。

「野田川良い町づくりの会」は地産地消・地域循環のまちづくりを目標に、森林保全事業から福祉事業まで幅広く活動していました。

そこで今回、新たな農業の可能性として紹介するのは「無農薬・有機農業による完全な地域づくり」を目指し、「根圈活力農法」による米作りに挑戦しているNPO法人「野田川良い町づくりの会」の皆さんです。

「野田川良い町づくりの会」は地産地消・地域循環のまちづくりを目標に、森林保全事業から福祉事業まで幅広く活動していました。

そこで今回、新たな農業の可能性として紹介するのは「無農薬・有機農業による完全な地域づくり」を目指し、「根圈活力農法」による米作りに挑戦しているNPO法人「野田川良い町づくりの会」の皆さんです。

「根圈活力農法」とは、家畜のふんなどから作る完熟堆肥（完全に発酵させた堆肥）と、それに含まれる微生物の働きを活性化させる土壤活性水（土壤活力光合成菌を含む水）を散布することで、農薬や化学肥料を使用せず、微生物の働きによって稲を育てる農法です。生産に数ヶ月の時間と高いコストがかかる従来の堆肥と異なり、高速高温醜酵プロセスによって2週間ほどで生産できる堆肥を使用し、肥料や農薬、除草剤を必要としないので生産コストが抑えられ、光合成菌は稻から出る分泌液に集まり、雑草や病気から稻を守るため、従来の有機

が、平成22年からは根圈活力農法による米作りにも取り組んでいます。

根圈活力農法とは、家畜のふんなどから作る完熟堆肥（完全に発酵させた堆肥）と、それに含まれる微生物の働きを活性化させる土壤活性水（土壤活力光合成菌を含む水）を散布することで、農薬や化

が、平成22年からは根圈活力農法による米作りにも取り組んでいます。

根圈活力農法とは、家畜の

農業の新たな可能性に挑戦！



昨年9月、下山田での稲刈りの様子。その出来に作業もはかどりました。

農法でネットで除草の手間がかりません。

株式会社高島循環農業センターから技術提供を受け、一昨年から勉強会などを重ね、昨年、後野と下山田の田で試験栽培し、牛糞完熟堆肥や活性水の散布、田越し、苗の植え付けなど、試行錯誤しの末、ようやく秋の収穫を迎えるました。

前年まで化学肥料を使用していた後野の田では光合成菌がうまく働くかず、雑草が目立つ、「やめられない」とメンバーの下森さん。一方、豆っこ肥料と光合成菌での栽培にも挑戦した下山田の田では、数年間ほぼ化学肥料を使っていなかつたため、あまり雑草も生えず、よい出来となりました。

今回は株式会社高島循環農業センターが生産した堆肥と光合成菌を使用しましたが、「今後はこの土地にあつた光合成菌を自分たちで育てたい。また、おからを原料とした堆肥の研究も進めて、与謝野町産の光合成菌とおから堆肥で与謝野町流の根圈活力農法を目指したい」と今後の夢を語っていました。

野田川良い町づくりの会 平成15年設立。会員数20人。森林保全、地域産業振興から福祉分野まで幅広く活動。今回収穫した無農薬米は「よその元氣米」として販売。詳しきは「野田川良い町づくりの会」HPをみてください。